



議員改選後、初めての議会となる 令和3年2月北九州市議会定例会が開かれました!

ワクチン接種の予約・接種の準備状況などの問い合わせ先

問 北九州市コールセンター ☎0570・055・676

■受付時間：9～17時 ■対応言語：日本語・英語・中国語・韓国語

問 区役所相談窓口 ■月～金曜日(祝・休日は除く)9時～17時

- 門司区…2階
- 小倉北区…西棟地下1階
- 小倉南区…3階
- 若松区…3階
- 八幡東区…本館2階
- 八幡西区…5階
- 戸畑区…3階

ワクチンの医学的な相談についての問い合わせ先

問 福岡県新型コロナウイルスワクチン専用ダイヤル

☎0570・072・972 ■受付時間：24時間



令和3年度当初予算案を可決!!

2月定例会が2月24日から3月26日まで31日間の会期で開かれました。

市長から62件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案について原案のとおり決定しました。

また、議員から提出された議案は13件で、うち6件を可決しました。

主な内容	2～3面	新しい市議会議員の紹介
	4～6面	本会議での質疑と答弁
	7面	本会議での質疑と答弁、請願・陳情の審議結果 など
	8面	予算特別委員会での質疑項目、議案に対する各会派の賛否一覧 など

議長・副議長ごあいさつ



議長
たかき けんいちろう
鷹木 研一郎
(自由民主党)



副議長
なりさか まさはる
成重 正文
(公明党)

私たちは、2月定例会において議長、副議長に選出されました。その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

現在、世界的に猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症は、市民生活をはじめ経済活動などに大きな影響を与えております。

そのような中、我々議会に求められていることは、コロナウイルスで痛みきつたまちの日常を取り戻し、社会を平らかにすることです。

そして、コロナウイルスに打ち勝ち、北九州市のポテンシャルをフルに発揮して、力強い経済政策を押し進めていかななくてはなりません。まだまだ大変な時期は続きますが、皆様方のお力添えをいただきながら、本市の発展のために、円滑な議会運営に努め、様々な課題に対し迅速かつ的確な施策を実現できるように、力を尽くしてまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

私たち57人が 皆さんの代表です

1月の市議会議員一般選挙で選ばれました

一覧表の見方 上段:氏名 中段:(所属会派) 下段:所属委員会 ◎は委員長、○は副委員長

門司区 [定数 6人]



中島 慎一
(自由民主党)

経済港湾



渡辺 徹
(公明党)

教育文化



奥村 直樹
(ハートフル北九州)

総務財政○、議運



小宮 けい子
(ハートフル北九州)

教育文化



高橋 都
(日本共産党)

経済港湾



日野 雄二
(自民の会)

経済港湾

小倉北区 [定数 11人]



大石 仁人
(自由民主党)

教育文化



佐藤 栄作
(自由民主党)

建設建築○、議運



吉田 幸正
(自由民主党)

環境水道



中村 義雄
(自由民主党)

保健福祉



木畑 広宣
(公明党)

保健福祉



松岡 裕一郎
(公明党)

総務財政、議運



富士川 厚子
(公明党)

総務財政



世良 俊明
(ハートフル北九州)

保健福祉



出口 成信
(日本共産党)

環境水道



大石 正信
(日本共産党)

総務財政



篠原 研治
(日本維新の会)

総務財政

小倉南区 [定数 12人]



吉村 太志
(自由民主党)

環境水道



井上 秀作
(自由民主党)

経済港湾



金子 秀一
(公明党)

経済港湾○



渡辺 修一
(公明党)

建設建築



木下 幸子
(公明党)

保健福祉◎



森本 由美
(ハートフル北九州)

総務財政



森 結実子
(ハートフル北九州)

保健福祉



泉 日出夫
(ハートフル北九州)

経済港湾



藤沢 加代
(日本共産党)

教育文化◎



渡辺 均
(自民の会)

建設建築



西田 一
(自民の会)

保健福祉、議運



有田 絵里
(日本維新の会)

保健福祉

若松区 [定数 5人]

区ごとに、議席番号順に掲載。
所属会派・所属委員会は、次のとおりです。
※令和3年2月25日現在

所属会派 ※()は構成人数

- ◆自由民主党(13人)
- ◆ハートフル北九州(11人)
- ◆自民の会(5人)
- ◆変革と成長(1人)
- ◆村上さとこ(1人)
- ◆公明党(13人)
- ◆日本共産党(8人)
- ◆日本維新の会(3人)
- ◆井上しんご(1人)
- ◆若松を愛する会(1人)

所属委員会 ※()は定数

- ◆常任委員会 総務財政委員会(10人)
- 経済港湾委員会(9人)
- 教育文化委員会(10人)
- 保健福祉委員会(10人)
- 環境水道委員会(9人)
- 建設建築委員会(9人)
- ◆議会運営委員会(8人)



三原 朝利
(自由民主党)

教育文化○



本田 忠弘
(公明党)

建設建築



三宅 まゆみ
(ハートフル北九州)

教育文化



山内 涼成
(日本共産党)

建設建築、議運



本田 一郎
(若松を愛する会)

経済港湾

八幡東区 [定数 4人]



成重 正丈
(公明党)

環境水道



白石 一裕
(ハートフル北九州)

建設建築



戸町 武弘
(自民の会)

総務財政



井上 しんご
(井上しんご)

環境水道

八幡西区 [定数 15人]



宮崎 吉輝
(自由民主党)

総務財政、議運○



田中 常郎
(自由民主党)

建設建築



鷹木 研一郎
(自由民主党)

保健福祉



村上 幸一
(自由民主党)

環境水道



中島 隆治
(公明党)

環境水道○



村上 直樹
(公明党)

経済港湾、議運○



山本 眞智子
(公明党)

教育文化



浜口 恒博
(ハートフル北九州)

環境水道○



大久保 無我
(ハートフル北九州)

経済港湾○、議運



永井 佑
(日本共産党)

教育文化



伊藤 淳一
(日本共産党)

保健福祉



香月 耕治
(自民の会)

教育文化



松尾 和也
(日本維新の会)

建設建築



井上 純子
(変革と成長)

総務財政



村上 さとこ
(村上さとこ)

教育文化

戸畑区 [定数 4人]



田中 元
(自由民主党)

総務財政○



岡本 義之
(公明党)

環境水道



河田 圭一郎
(ハートフル北九州)

建設建築○



荒川 徹
(日本共産党)

保健福祉○

市議会の虚礼廃止へのご理解を!

公職選挙法では、次のことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり、有料のあいさつ広告を出すこと。
- 議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと。
- 議員や後援会がお中元やお歳暮などをする事。
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと。(自筆の答礼は除く。)
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること。



このほか北九州市議会では、**祝電**や**弔電**の**自粛**を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

本会議での質疑と答弁

この市議会だよりでは、本会議での質疑と答弁の要約したものを掲載しています。詳細な会議録は、6月上旬以降から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。また、市議会のホームページには、5月中旬頃に会議録(速報版)を掲載します。なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、6月下旬頃からとなります。

本会議では次の40人が質疑を行いました。掲載記事の順番は発言順です。なお、掲載している時間(分)は、議員の発言時間(執行部の答弁を含む)です。

3月4日 代表質疑



自由民主党 中島 慎一
本市独自のワクチン接種順位の設定について 90分

議員 ロナワクチンの接種が始まり、エッセンシャルワーカーを優先するなど、本市独自に順位をつけて実施して欲しいという要望が多いが、見解を尋ねる。

市長

社会機能を維持するために不可欠な仕事に従事している保育士や幼稚園教諭等は、子どもたちと近い距離、密の空間で接することが多く、本市も早期接種の重要性を十分認識している。ワクチンの接種順位は基本的に国が決定するため、現在、国に対し、接種順位に関する裁量を自治体にも与えるよう要望している。今後も、早期に接種できるように、しっかりと検討していく。



公明党 岡本 義之
市内大学生の支援について 90分

議員 コロナ禍を受け本市が実施する、市内大学の全学部生に対するメンタルヘルスに係る調査は、どのように実施し、その結果を踏まえ大学をどのように支援しようと考えているのか尋ねる。

市長

コロナ禍により友人や教授等との交流が制限され不安を抱える学生のメンタル面を支援するため、市内大学全学部生へのオンラインによる調査を考慮しており、その結果は大学にフィードバックし、臨床心理士増員による相談体制の強化やWEBを活用した交流サイト構築等、各大学による支援策に活用していきたいと考えている。本市は必要経費の一部を補助することで、学生のメンタルヘルスケアの充実について支援していく。



自由民主党 三宅 まゆみ
新型コロナワクチンに関する支援について 90分

議員 4月から段階的に接種予定の、同ワクチンの効果やリスクの分かりやすい情報発信、視覚・聴覚障害者や寝たきり高齢者等への配慮、関連詐欺対策の啓発等に関する本市の見解を尋ねる。

市長等

ワクチンの有効性やリスクの情報は市政だよりなど様々な媒体を活用し、順次内容を更新しながら丁寧にお知らせしていく。障害のある方に対しては集団接種会場のバリアフリー化等きめ細かな対応を検討し、寝たきりの高齢者への対応については今後、医師会と協議していく。ワクチン関連詐欺等への対応については警察と協議しており今後、注意喚起のチラシなどにより啓発を行う予定である。

3月5日 代表質疑

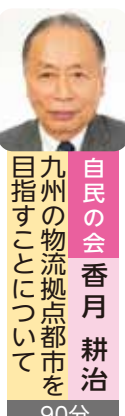


日本共産党 荒川 徹
消費税の緊急減税について 90分

議員 新型コロナウィルスの最も深刻な犠牲となっている低所得者への支援として消費税を5%に引き下げるとともに、納税困難な中小業者には翌年度の消費税の納税免除等を行うよう、本市は政府に要請すべき。

財政局長

現行の消費税率は社会保障の安定財源の確保と財政健全化の同時達成を目的に国において十分議論された上でのものと考えている。中小業者の支援策は融資の拡充等のほか、国・県・市による税徴収の猶予の特例や軽減措置の活用等、納税者の実情に応じ柔軟かつ適切に対応しており、本市としては制度の根幹に関わるため消費税率の引き下げや免除を国へ要請する考えはない。



自由民主党 香月 耕治
九州の物流拠点都市を目標とするについて 90分

議員 本市の将来の経済を考えると、物流の拡大が重要と考える。陸・海・空の充実したインフラがしっかりと連携した「九州一の物流拠点都市」としての構想を描き、明確に打ち出すべきと考えるが見解を尋ねる。

市長

本市は恵まれた高速道路網や東西2か所のコンテナターミナル、24時間利用可能な北九州空港など陸・海・空全ての輸送モードに対応し物流拠点としてのポテンシャルを備えている。この優位性を更に広く情報発信するため、本市は物流関連施策を統括し総合調整を図る体制を整

え、総合的な視点からのブランドデザインを策定し、物流産業の集積等に全力で取り組んでいく。

3月5日 一般質疑

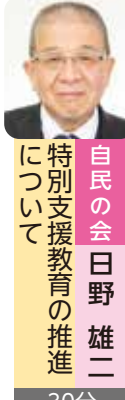


自由民主党 中村 義雄
新型コロナワクチンの優先接種について 60分

議員 本市では、高齢者に係る通所施設や訪問業務従事者は、優先接種の対象になつていない。高齢者に感染させるリスクが高い、これら従事者や他のエッセンシャルワーカーも福岡市と同様、優先接種の対象にすべき。

保健福祉局長

高齢者と接する方や、子どもと近距離で接する保育士等への早期接種の重要性は認識しているが接種順位は国が決定するため本市にその裁量を与えるよう要望している。その中で先口、通所施設や訪問業務従事者については条件付きで優先接種対象にできるとの考え方を国が示したため、可能な限りの早期接種に向け検討していく。



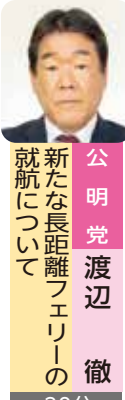
自由民主党 日野 雄二
特別支援教育の推進について 30分

議員 医療的ケア児の実態は多様であり、その可能性を最大限発揮させるためには一人一人のニーズに応じた教育の場の提供が大切である。本市は、児童生徒の状態によっては小・中学校での学習が行えるような環境整備を積極的に行うべき。

教育長

医療的ケア児の就学に寄り添い個別に対応しており多くの場合、重度・重複障害のある児童等は特別支援学校で受け入れ、自己管理可能で学習活動への負担

が少ない場合は小・中学校等でも受け入れてきた。今後は小・中・特別支援学校への看護師派遣、医療的ケアの支援等を充実するなど学習環境の更なる改善に取り組む。



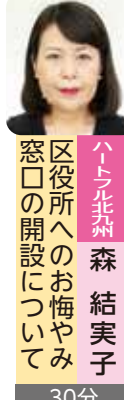
公明党 渡辺 徹
新たな長距離フェリーの就航について 30分

議員 西日本最大級の新門司フェリーターミナルに、横須賀港と結ぶ新航路が就航し、関東方面への物流が更に強化されるが、どのように本市経済の活性化につなげていくのか見解を尋ねる。

市長

今年7月に週6便就航する新航路は、横須賀港との間を約21時間で結び、輸送スピード重視の宅配貨物事業者等の期待は大きく、新門司地区近隣への冷蔵倉庫建設等、物流拠点機能の更なる強化が考えられる。また、旅客需要増による観光関連産業の活性化も期待されるため、本市は物流事業者間のマッチング支援等により物流や交流の促進を図り経済活性化にしっかりとつなげる。

3月8日 一般質疑



自由民主党 結実子
区役所へのお悔やみ窓口の開設について 30分

議員 死亡に係る手続きをワンストップで、簡単かつ確実に行えるお悔やみ窓口を設置するとともに、所有者不明の不動産を減らすためにも、相続手続きに必要な司法書士の情報を同窓口で提供してはどうか。

市民文化スポーツ局長

本市は、区役所市民課に加え、スマートフォンなどで自宅に居ながら24時間、死亡に伴う手続きや、司法書士等の無料相談窓口を確認できる「お別れガイド」の導入を進めている。お悔やみ窓口の設置については人員等の課題があるが、ご遺族の負担軽減等につながるため、今後、検討していく。



日本共産党 大石 正信
PCR検査について 30分

議員 介護施設従事者等へPCR検査について、検査は、感染判明による事業所閉鎖等でちゅうちよする方に対し科学的知見に基づき検査の重要性等を説明し、希望者だけではなく全員を対象に行うべきではないか。

保健福祉局長

本市は、集団感染の可能性がある医療機関等への幅広いPCR検査や、重症化リスクの高い介護・障害施設へのスクリーニング検査等について、検査の重要性や必要性を対象施設へ丁寧に説明し積極的活用を促している。検査対象者は、今後、全入所系介護・障害施設の入所者と従事者へ拡大する予定であり、引き続きしっかりと対応していく。

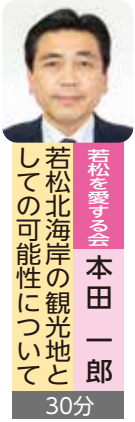




自由民主党 佐藤 栄作
公民連携の推進について
30分

議員 少子高齢化の進展等により、複雑、多様化している社会課題の解決には公民連携の手法が不可欠であるため、その相談・提案を一元的に受け付けるワンストップ窓口を設置し、更に推進すべきではないか。

市長 本市は行財政改革大綱に基づき積極的に公民連携を推進しており、ワンストップ窓口は有効な手段であると認識している。同窓口設置の他政令指定都市では企業等からの提案機会の増加など具体的な成果に結びついている一方、窓口を有効に機能させるためのルールづくりなど課題もあると聞いている。今後も窓口のあり方をしっかりと検討していく。



若松を愛する会 本田 一郎
若松北海岸の観光地としての可能性について
30分

議員 若松北海岸は、近隣にグリーンパークや協田海釣り桟橋、夕日の撮影等のインスタ映えで賑わう若屋海水浴場、ポテンシャルの高い食材等があるため糸島市に引けをとらないが、更なる観光振興のための支援が必要ではないか。

市長 若松北海岸の素晴らしい素材を更に生かし集客につなげるためにはグルメや体験型観光等を組み合わせたコースづくりが必要であるため、

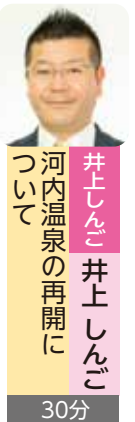
本市は在京のマスコミへのモニターツアーの売り込みや、SNSを活用したPRなどに力を入れる。今後、地元の方々の意見交換等を行いながら、更なる観光地化に向け資源の磨き上げなどに努める。



ハートフル共創 小宮 けい子
35人以下学級の実施について
30分

議員 小学校全学年に拡充される、35人以下学級の実施に伴う教員数が確保できているのか。また、学校現場が求める加配教員数に対して、その要望に応えられる加配教員数を確保できているのか尋ねる。

教育長 本市の市立小学校全学年で35人以下学級を実施した場合、昨年度に比べ概ね30から40の増級を見込んでおり、学力・体力向上推進教員の配置の工夫など施策の見直しにより必要教員数確保の目途は立っている。加配教員については国がその定数に係る予算を措置するため、本市は学校からの要望にできる限り応えるよう国への要望を続け、学校の実情に応じた配置に努めていく。

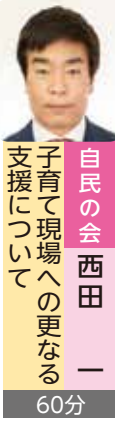


井上しんご 井上しんご
河内温泉の再開について
30分

議員 同温泉の再生は本市観光のビッグバンになる。道の駅の誘致やイベントの開催、放置竹林のポイラー燃料への活用、ふるさと納税等寄付の活用、障害者の運営・経営への参画等、民間にはないオンリーワンの温泉として再開すべき。

市長 平成31年に休館した河内温泉施設の再開に向け本市は、令和元年に民間ノウハ

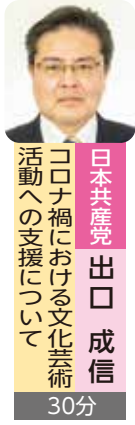
ウの活用についての調査を行い、その後、関心が寄せられた複数の事業者とヒアリングし、方向性を決める予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、直ちの参入が困難となった。今後は、同ウィルスの収束を待ち、改めて事業者の意見を聞きたい。



自民の会 西田 一
子育て現場への更なる支援について
60分

議員 将来の担い手不足という課題に対応するためには、子育てしやすい環境づくりへの、最大限の政策投入が必要不可欠である。最前線で子育て支援を担っている保育所等に対するコロナ禍における継続的支援の見直しなどについて尋ねる。

市長 子どもたちの生涯にわたる人間形成の基礎等を培う上で保育所等が果たす役割は重要であるため、本市は保育士の更なる処遇改善や負担軽減、勤務環境の改善等に重点的に取り組み、独自の予備保育士配置も継続する。感染防止対策については、子どもの送迎補助や消毒業務等を担う保育支援者の雇用への補助等を通じ、全力で支援していく。



日本共産党 出口 成信
コロナ禍における文化芸術活動への支援について
30分

議員 コロナ禍を受け本市が行った、演奏映像配信機材の購入費に対する補助や、ライブハウスなどでの配信方法の指導は喜ばれているが、関係者の生の声を聞いた更なる支援、再度の施設使用料の減額を行うべき。

市長等 本市は事業者の声を受け文化芸術に係る様々

な支援を行うほか、中小事業者等への各種支援制度も活用していた。多くのことによりライブハウスなどの持続的活動を支えてきた。使用料の減額は施設収容率の制限が解除等されたことから一旦終了するが、文化芸術活動の継続は大切であるため、今後も関係者に寄り添い、耳を傾けサポートしていく。



公明党 富士川 厚子
本市の都市イメージアップについて
60分

議員 新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、地方で暮らしていてもテレワークにより都会と同じ仕事ができることの認識が広まった。若い世代が本市に住みたくなるようなブランディング、また、イメージアップをどのように図るのか尋ねる。

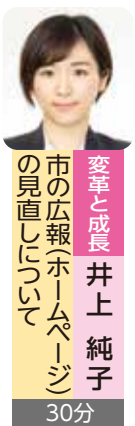
市長 本市は「住みやすさ」や「安全・安心」等を基盤とした、若い世代がワクワクするような、未来志向のイメージを発信するため、同世代に向けたロゴやキャッチコピーの作成、都市のブランディング形成につながる、統一感ある情報発信等を検討している。今後も若い世代等、多くの方が「住んでみたい」と感じる取り組みを展開する。



日本維新の会 松尾 和也
デジタル市役所の推進について
30分

議員 現在、スマートフォンなどの普及により、欲しい情報が、いつでも、どこでも取得でき、市民の負担軽減、利便性向上のためにはデジタル技術を活用した行政サービスの見直しが必要になる。デジタル市役所推進に向けた取り組みを尋ねる。

市長等 本市は、デジタルの活用により、多様な幸せを実現できる社会を目指す。国の自治体DX推進計画策定を受け、行政サービスの見直しなどに取り組んでおり、オンライン相談等、本市所管の全行政手続きのうち、可能なものから取り組む予定である。今後も「書かない、待たない、行かなくてよい」市民目線のデジタル市役所を構築していく。



変革と成長 井上 純子
市の広報(ホームページ)の見直しについて
30分

議員 本市ホームページのアクセス数は新型コロナウイルスの影響で急増しており、市政情報を発信するホームページの重要性は高まっているが、現在のホームページは見づらい。トップページの項目を整理するなど、レイアウトの見直しを行うべき。

市長 本市のホームページでは市政情報を迅速かつ正確に発信しているが、情報量が約2万ページに及ぶほど膨大であるため、見にくく、欲しい情報が探しにくいなどの課題があることから、現在、更に分かりやすく、検索しやすいホームページを目指し、全体を大幅に見直している。今後も市民目線に立ち、しっかりと充実していく。

3月9日 一般質疑



村上さとこ 村上さとこ
市長が公言する「与党について」について
30分

議員 市議選後、市長が「与党会派」と言う議員だけに公費約8万円を使い祝電を送付した。市長が地方自治法や二元代表制を超え親しい議員の派閥を

作れば、市長と議会の正しい関係が崩れる。「与党」とは何か。

市長 地方議会での与党とは、首長の所属政党や、首長が無所属の場合には協力的な政党・会派を指す。二元代表制の一翼を担う私は、選挙公約に掲げた施策を力強く実行していくため、志を同じくする議会会派の理解や協力が何よりも大切であると感じていることから、政策協定の実現等を通して思いを共有していただいた皆様、市議会における与党だと考えている。

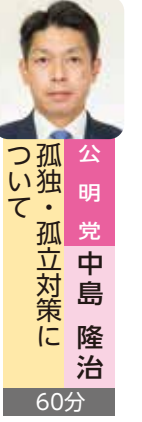


自民の会 戸町 武弘
市街化調整区域への編入について
30分

議員 住民説明会等の結果を受け、本市は、区分区分見直し候補地の範囲を、どのように考えるのか。更には、編入された管理困難な土地等の、国への帰属を可能とするための補助金の検討を始めてはどうか。

建築都市局長 説明会等で伺った、編入拒否を含む様々な意見を総合的に判断の上、見直し候補地の範囲を修正し、再度、説明機会を設け都市計画原案を作成するとともに、今後も定期的に見直ししていく。補助金は、まずは制度の内容を確認していきたいと考えており、今後も地域住民の声を聞きながら、安全・安心で持続可能な都市構造を実現していく。





公明党 中島 隆治
孤独・孤立対策について 60分

議員 コロナ禍による高齢者等により浮き彫りになったDV、児童虐待、自殺増加など社会的孤立の防止策について、誰一人取り残さない、抜本的な強化策に全力的に取り組むべきではないか。

市長 コロナ禍により地域福祉活動の制約等が課題となったため、本市はポストコロナ時代を見据え、高齢者のデジタル技術習得への支援や、居場所づくり・見守り関係者の交流の場の設置等を通じ、仮に集えなくても人・地域とつながり、心身の健康を維持できる取り組みを関係部署連携のもと推進する。今後も困難を深めている人々に寄り添い社会的孤立の防止に努めていく。

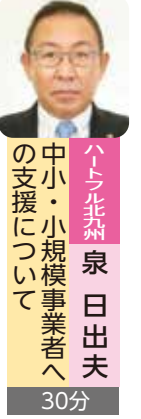


日本共産党 高橋 都
門司港地域複合公共施設整備事業について 30分

議員 本市は当事業の整備費の増額はしないとしていたが、基本設計段階で15億円超も増額になり、更に経費縮減の検証費用7500万円まで予算計上された。皆さんであり、事業自体を検証すべき。

企画調整局長 基本設計着手後、土地所有者との協議が進む中で施設配置等の見直しが必要となったことに加え、物価上昇もあり増額となったため、今後は市民等の意見をできる限り取り入れつつ総事業費の縮減も検証したい。当事業は構想段階から市民や団体の意見を伺い丁寧に進めてきたため事業自体をはじめから検証する考えはないが、今後も地域活

性化につながるよう取り組む。



自由民主党 村上 幸一
黒崎のまちづくり構想について 30分

議員 現在、本市が策定中の黒崎まちづくり構想は、30年先を見据えた長期の構想であるが、市長が今任期中に成し遂げたい、黒崎のまちづくりについての考えを尋ねる。

市長 黒崎は近年、生活利便施設が立地し医療機関が集積するなど、生活環境が整った北部九州随一の快適な居住区域として発展する可能性があるため、オフィス機能や住宅開発、商業機能等の立地を適正に誘導するため、具体的な仕組みづくりについて、地域の意見をよく聞き検討する必要があると考えている。副都心黒

議員 黒崎のまちづくり構想は、30年先を見据えた長期の構想であるが、市長が今任期中に成し遂げたい、黒崎のまちづくりについての考えを尋ねる。



自由民主党 村上 幸一
黒崎のまちづくり構想について 30分

議員 現在、本市が策定中の黒崎まちづくり構想は、30年先を見据えた長期の構想であるが、市長が今任期中に成し遂げたい、黒崎のまちづくりについての考えを尋ねる。

市長 黒崎は近年、生活利便施設が立地し医療機関が集積するなど、生活環境が整った北部九州随一の快適な居住区域として発展する可能性があるため、オフィス機能や住宅開発、商業機能等の立地を適正に誘導するため、具体的な仕組みづくりについて、地域の意見をよく聞き検討する必要があると考えている。副都心黒

崎の再生に向かい、中長期的な課題ではあるが、今やらなければならぬことにしっかりと取り組む。



日本維新の会 篠原 研治
小倉北区繁華街の悪質な客引きについて 30分

議員 商店街で飲食店等を紹介する客引きの、通行人への執拗なつきまといや他店舗営業の妨害、待機場所でのたばこやペットボルのポイ捨てなど迷惑行為が目立つ。本市独自の条例制定等により厳しく対処すべき。

市長等 本市は昨年8月、客引き行為等への対策検討会議を設置し、条例制定を含め方策を議論している。昨年10月の店舗等へのアンケートでは条例制定を求める声が多いものの全面的規制には慎重意見もあり、また、条例を制定した他都市では巡視員配置に多額の人件費を要するなど課題があると聞いているため、引き続き同会議において条例制定も含め効果的な対策を検討していく。

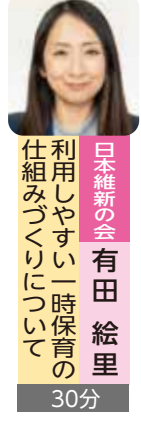
議員 コロナ禍によりテレワークの推進や、首都圏から地方への本社機能の移転、移住など地方分散の傾向が高まっている。本市はこの機会を逃すことなく、企業誘致をより積極的に進めるべきと考えているが、見解を尋ねる。



公明党 松岡 裕一郎
コロナ禍における企業誘致について 60分

市長 コロナ禍を契機とした一丁企業の地方分散の動きをしっかりと誘致につなげるため、本市が今年度、最新のデジタル環境整備や感染症対策、オフィスリノベーションへの助成を行った結果、製造業を含め多くの企業進出、雇用

創出を見込んでいる。更に来年度は、企業進出の呼び水となる、魅力あるオフィス建設を推進する補助金を創設するなど、今後も若者の地元定着が進むよう積極的に取り組む。

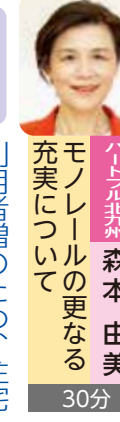


日本維新の会 有田 絵里
利用しやすい一時保育の仕組みづくりについて 30分

議員 他自治体では一時保育の他、様々なサービスを試せる「子育てスタート応援券」との仕組みがある。本市も生後3か月以上の子どもが月に1回無料で3時間、一時保育を利用できる仕組みを導入してはどうか。

子ども家庭局長 本市は3月1日現在80の認可保育所で一時保育を、子どもの館等82の認可外保育施設で一時預かりを実施している。議員提案内容を実施すると受け入れる子ども的大幅増加により、保育所が面積基準を満たさなくなることや、多くの保育士人件費が必要となるなど課題があるため、現行の多様な施設等の活用について更なる周知を図り、子育ての負担軽減に取り組んでいく。

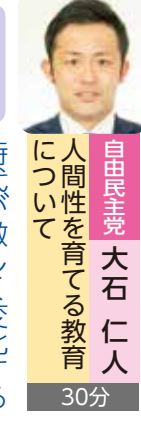
議員 利用者増のため、住宅地からモノレール駅までをつなぐフィーダーバスの導入や、路線延伸等を真剣に検討するとともに、駅構内の雨漏りや、故障中のエスカレーターの修繕を早急に行うべきではないか。



自由民主党 森本 由美
モノレールの更なる充実について 30分

市長等 フィーダーバスについては令和3年に実施することを検討しているが、路線延伸については巨額な事業費や運行体制の確保など多くの課題があり、

実現は困難と考える。雨漏りについては緊急性の高い駅舎から修繕し、エスカレーターは3月末に修理完了予定である。今後も、本市の主要な幹線軸となるモノレールが使いやすく身近なものとなるよう、交通事業者と連携して取り組む。



自由民主党 大石 仁人
人間性を育てる教育について 30分

議員 時代が激しく変化化する中、外遊びや実体験等、人との関わり合いの活動を学校教育の中で積極的に行うことで、子どもがエネルギー、人間性、社会性を育てていくことが重要である。と考えるが、本市の見解を尋ねる。

教育長 本市は令和元年策定の教育プランにおいて、「自立を目指す子どもの姿の一つに「自立し、思いやりの心をもつ子ども」を掲げ、小学校では異なる学年のグループによる大縄跳びなどの縦割り活動等を、中学校では職場体験等を、その他、各学校の実情に応じた環境・福祉等の体験活動を通じ、社会性や人間性の育成に取り組んでいる。今後も様々な体験活動を積極的に取り入れていく。

3月10日 一般質疑

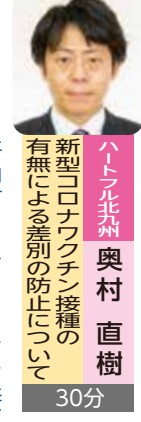


日本共産党 藤沢 加代
少人数学級の拡充について 30分

議員 本市が国に先駆け、令和3年度から35人以下学級を小学校全学年に拡大することを歓迎する。必要な教員を確保し、更に全学年を30人以下学級にするための計画を立て、中学校の35人以下学級も実施すべき。

教育長 本市は教育委員会施策の見直しなどによ

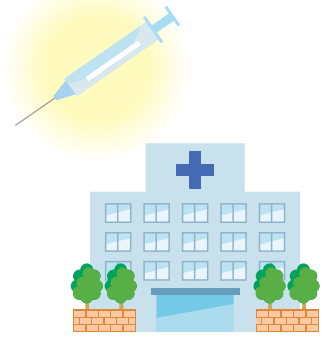
り、少人数学級によるきめ細かな指導と、教員の働き方改革の両立の目的が立ったため35人以下学級の小学校全学年拡充に踏み切った。現時点で30人以下学級の計画は考えておらず、まずは今回の拡充により教育の質の向上を図る。中学校の35人以下学級については、必要な法改正の国への要望等を行っていく。



自由民主党 奥村 直樹
新型コロナウイルス接種の有無による差別の防止について 30分

議員 新型コロナウイルス接種の有無によって、入場できる施設等についての差別学校や職場での対立も防がなければならぬ。これら差別が生じないために、本市はどのような対策を考えているのか尋ねる。

市長 ワクチンは新型コロナウイルス感染抑制の切り札として期待されるが、接種は市民が自らの意思で適切に判断されるものであり、接種の強制や、接種しない人への差別的扱いはあってはならないため、本市はワクチンの有効性や安全性等の情報を市政だよりなど様々な媒体を活用して周知し、相談にきめ細かく対応する。今後も、差別防止の注意喚起や啓発に努めていく。

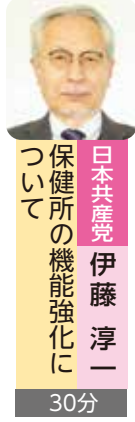




公明党 渡辺 修一
放課後児童クラブに
ついて
30分

議員 放課後児童クラブの1クラス40人の規模を、利用児童の安全確保と指導員の負担軽減のため、35人以下の集団規模となるよう、本市は国に強く働きかけるべきと考えるが、見解を尋ねる。

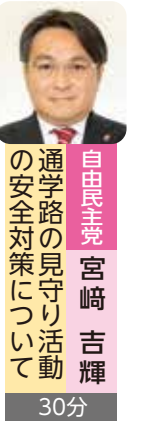
市長 放課後児童クラブのクラス定員は国の運営指針に基づき、指導員と児童との信頼関係構築等の観点から概ね4人とされている。これを35人とすれば一人一人の児童に目が行き届き指導員の負担も軽減されるため、より安全な保育が可能となるが、クラス数増加に伴い財源や人材確保の課題も生じるため本市は今後、これらへの支援について国に働きかけていく。



日本共産党 伊藤 淳一
保健所の機能強化に
ついて
30分

議員 最悪のことを想定して進めるのが感染対策の大原則であり、新型コロナウイルスに対応するためには、保健所の機能が十分に発揮されなければならない。保健所の人員を含めた体制強化と増設が必要ではないか。

保健福祉局長 保健所を一元化したことでコロナに関する検査や入院調整、クラスター発生時のスピード感ある対策等、機動的な対応が可能となっている。体制強化についても保健所とは別のコロナ対策専門部署の設置や、他部署からの応援体制の構築、民間資源の活用、保健師増員等に取り組んでおり、当面は現行の体制を基本としつつ、市民の健康管理の拠点としての機能を果たしたい。



自由民主党 宮崎 吉輝
通学路の見守り活動
の安全対策について
30分

議員 広島県で通学路の見守り活動の方が亡くなられた。本市にも同活動をされているボランティアの方がたくさんおられるが、広島は悲劇が二度と起きないよう安全対策マニュアルを作成・配布し、周知させるべき。

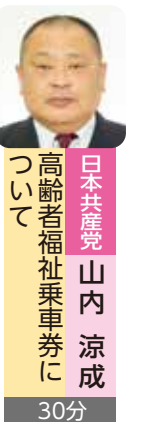
市長 これまで本市は、生活安全パトロール隊等による見守り活動に係る注意事項を記載した手引きの作成や、区役所の安全・安心指導員による助言、治安情報の提供等を行ってきたが、更に現在、活動中の交通安全対策を分かりやすく解説した「街頭誘導ハンドブック」を作成しており、新学期に合わせて配布予定である。今後も皆様が無心して活動できるように、様々な支援に努める。



日本共産党 大久保 無我
技術者育成のための
技能五輪開催について
30分

議員 技術者を目指す若者や学生たちが、技術の習得と向上への興味や刺激を得ることのできる技能五輪全国大会を、本市を中心に福岡県で開催できるように、県に働きかけてはどうか。

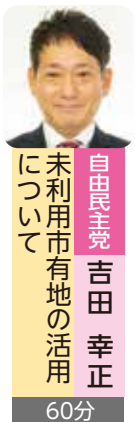
市長 ものづくりで発展してきた本市は、技術者の育成、技術の継承が重要な課題であり様々な支援を行っているため同大会の開催は、本市のPRにつながり多くの来場・宿泊者が見込まれる一方、広大な会場の確保や、競技用機器購入等の開催費用負担等の課題もある。今後、同大会誘致に当たっては、本市の役割分担や、本市での競技項目等について、まずは福岡県に相談する。



日本共産党 山内 涼成
高齢者福祉乗車券に
ついて
30分

議員 昨年提出された、同乗車券導入を求める2万筆超の署名に託された市民の声にどう向き合うのか、本市の姿勢が問われている。市民のための施策かどうか、他都市施策等を研究し支援策を検討すべき。

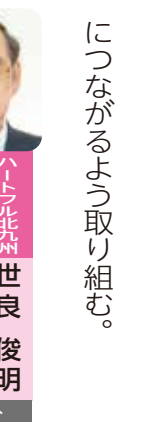
市長 本市では、各交通事業者による安価な料金サービスや、本市のおでかけ交通事業の充実等により、高齢者が外出しやすい環境が整備されている。高齢者への交通費助成には多額の事業費を要し、制度の廃止等を行った都市もあることから福祉乗車券制度の実施は考えていないが、市民の声は承知しており、今後、高齢者の生活交通に関し関係部署間で連携を図り議論していく。



自由民主党 吉田 幸正
未利用市有地の活用
について
60分

議員 未利用市有地売却時の総合評価方式の公募型プロポーザルは提案内容と価格の評価割合を5対5としてきたが、「その土地が街の未来にどのように活用されるのか」との提案内容を重視するよう割合を変更すべき。

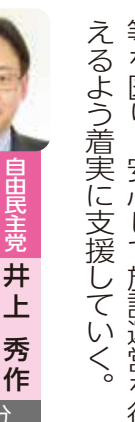
財政局長 同方式で売却する際の提案内容と価格の配点割合は案件ごとに審議し決定してきたが、今後、大規模未利用地売却案件の増加が予想されるため、まちづくりの観点から価格以外の要素を考慮する必要がある土地については、提案内容をより重視する配点割合とすることなどを定めるガイドラインの作成を検討している。今後も市全体の活性化



ハートフル北九州 世良 俊明
PCR検査の拡充に
ついて
60分

議員 昨年12月に開始した入所型介護・障害者施設へのスクリーニング目的のPCR検査は、新型コロナウイルスの感染予防、拡大防止に有効であるため、今後、通所型の施設等にも拡大すべきと考えるが見解を尋ねる。

市長 検査対象の拡大に向け、本市が同感染症に係るPCR検査事業の実施に関する覚書を締結している、ソフトバンクの新型コロナウイルス検査センターと協議を重ねてきた結果、入所系620施設に加え、通所・訪問系の事業所等約1600事業所にまで拡充できる目途が立った。今後もクラスター発生の未然防止等を図り、安心して施設運営を行えるよう着実に支援していく。



自由民主党 井上 秀作
新型コロナウイルス
感染症対策について
60分

議員 同感染症終息のためのゲームチェンジャーと考えられているワクチンを安心して接種してもらうため、アナフィラキシーが不安な方に対し、その原因であるポリエチレングリコールのアレルギーテストを行うべき。

市長 国は、過去にポリエチレングリコールに対し重いアレルギー反応を起こした方等へのワクチン接種を推奨していないため、本市はホームページでその旨をお知らせするとともに、該当するか不明な方等に対しては、かかりつけ医等への相談を案内している。テスト体制の整備につ

つながるよう取り組む。
ては医師会等の意見を伺うこととしており、今後も接種に関する丁寧な情報発信に努める。

請願・陳情の審議結果

市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

令和3年2月定例会では、請願2件、陳情19件が継続審査となりました。

お知らせ

- 視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。
【問い合わせ】市議会事務局政策調査課 ☎582-2632 FAX 582-2685
- 聴覚障害のある方が本会議の傍聴を希望される際には、要約筆記者や手話通訳者の派遣先を紹介しています。事前にお問い合わせください。
【問い合わせ】市議会事務局総務課 ☎582-2621 FAX 561-1021

北九州市議会だより編集委員会の新しい委員構成

市議会の活動を市民の皆様にもさらに分かりやすくお知らせするために紙面の編集を行います。

【北九州市議会だより編集委員】

氏名	会派名
大石 仁人(委員長)	自由民主党
富士川厚子(副委員長)	公明党
泉 日出夫	ハートフル北九州
高橋 都	日本共産党
西田 一	自民の会

政務活動費の「収支報告書」を公開します

令和2年度の政務活動費収支報告書を市議会ホームページで公開します。また、領収書などの写しは、市議会事務局で閲覧できます。

なお、議員の改選に伴う新任期分(令和3年2月10日～3月31日)については、6月29日(火)から閲覧できます。

【問い合わせ】
市議会事務局総務課(小倉北区内1-1、市庁舎横)
☎582-2622 FAX 582-2685

「資産などに関する報告書」が閲覧できます

令和3年度に議員から提出された ①資産等補充報告書 ②所得等報告書 ③関連会社等報告書 ④資産等報告書は、市議会事務局で閲覧できます。

※閲覧開始日時
①～③ 令和3年6月30日(水)午前9時から
④ 令和3年7月20日(火)午前9時から

【問い合わせ】
市議会事務局総務課(小倉北区内1-1、市庁舎横)
☎582-2621 FAX 561-1021



第1分科会

【所管】

・会計室・秘書室・広報室・企画調整局
・総務局・財政局・産業経済局・港湾空港局
・公営競技局・農業委員会
・他の常任委員会の所管に属しない事項

【委員】18人 ○は主査 ○は副主査

○奥村 直樹 ○宮崎 吉輝 田中 元 井上 秀作
中島 慎一 富士川厚子 金子 秀一 村上 直樹
森本 由美 大久保無我 泉 日出夫 高橋 都
大石 正信 日野 雄二 戸町 武弘 篠原 研治
井上 純子 本田 一郎

【質疑項目】

- 自由民主党
 - ウイズコロナ・ポストコロナ時代の地方創生の取組について
- 公明党
 - 響灘洋上風力発電拠点化推進事業について
 - 複業・兼業による関係人口づくり事業について
 - SDGsの認知度向上について
- ハートフル北九州
 - ふるさと北九州市広域寄附金の強化について
 - 自治体DX推進事業における市民の基本的権利及びプライバシー保護について
 - イノシシ対策について
- 日本共産党
 - 門司港地域複合公共施設整備事業について
 - 自治体DX・デジタル市役所の推進について
- 自民の会
 - 太刀浦コンテナターミナル機能強化関連事業について
 - アジアを中心とした国際戦略の推進について
- 日本維新の会
 - 北九州空港のアクセス鉄道について
- 変革と成長
 - コロナ禍における経済支援について
- 若松を愛する会
 - 若松北海岸での養殖水産物を活用した観光について

第2分科会

【所管】

・市民文化スポーツ局・教育委員会
・保健福祉局・子ども家庭局

【委員】19人 ○は主査 ○は副主査

○藤沢 加代 ○渡辺 徹 大石 仁人 三原 朝利
鷹木研一郎 木畑 広宣 山本真智子 木下 幸子
世良 俊明 三宅まゆみ 小宮けい子 森 結実子
永井 佑 伊藤 淳一 荒川 徹 香月 耕治
西田 一 有田 絵里 村上さとこ

【質疑項目】

- 自由民主党
 - 2学期制の検討について
 - 学校間交流行事について
 - ALTIについて
 - 新型コロナウイルスワクチンの接種体制について
- 公明党
 - 新型コロナウイルスワクチン接種について
 - 生理の貧困について
 - 自殺防止に向けての対策について
- ハートフル北九州
 - 不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業について
 - ひとり親コンシェルジュについて
- 日本共産党
 - 安全、安心の新型コロナウイルスワクチン接種について
 - PCR検査の拡充について
 - 高齢者福祉乗車券の実現について
 - 少人数学級の拡充に向けた教員の確保について
- 自民の会
 - 市立学校の教員採用について
- 日本維新の会
 - 防犯カメラ事業について
- 村上さとこ
 - 新型コロナウイルス感染拡大を何としても食い止めるための体制について

第3分科会

【所管】

・危機管理室・環境局・消防局・上下水道局
・技術監理局・建設局・建築都市局・交通局

【委員】18人 ○は主査 ○は副主査

○渡辺 均 ○白石 一裕 吉村 太志 佐藤 栄作
吉田 幸正 田仲 常郎 村上 幸一 岡本 義之
成重 正文 本田 忠弘 中島 隆治 渡辺 修一
河田圭一郎 浜口 恒博 出口 成信 山内 涼成
松尾 和也 井上しんご

【質疑項目】

- 自由民主党
 - 公共交通ネットワークの維持について
 - 消防団への入団促進などの取組について
- 公明党
 - 生物多様性の取組について
 - 市営バスにおける「全国共通ICカード」の導入について
- ハートフル北九州
 - 市街化区域と市街化調整区域との区域区分見直しについて
 - 宅配ボックスの購入費用の補助について
- 日本共産党
 - 資源化物の指定袋の無料化について
 - 区域区分の見直しについて
- 自民の会
 - 小倉南区の自然を生かした魅力づくりについて
- 日本維新の会
 - 若い世代の地域防災への参加について
- 井上しんご
 - 本市の魅力をもっと現行のコンパクトシティの見直しについて

令和3年2月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧

詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000925930.pdf



種別	件名	議決結果	自民党	公明党	ハート	共産党	自民の会	維新の会	変革	井上	村上	若松
長提出議案	予算(全て令和3年度分)	特別会計予算(食肉センター等)/事業会計予算(工業用水道)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般会計予算/特別会計予算(国民健康保険等)/事業会計予算(上水道等)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	条例	SDGs未来基金条例/国民健康保険条例の一部改正/公衆浴場法施行条例の一部改正/新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付基金条例/道路占用料徴収条例及び自動車駐車場条例の一部改正/道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正 など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		事務分掌条例の一部改正/介護保険条例の一部改正/都市公園、霊園、駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正 など	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○
	その他	金山川調節池整備工事(2-1)請負契約締結/基本財産の額の増加に係る福岡北九州高速道路公社の定款の変更に関する同意 など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		連携中枢都市圏北九州都市圏の形成に係る吉富町との連携協約の締結に関する協議	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
補正予算	令和2年度特別会計補正予算(国民健康保険(第4号)等)/同事業会計補正予算(下水道(第2号)等)/同一般会計補正予算(第6号)/令和3年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和2年度一般会計補正予算(第5号)/同特別会計補正予算(土地区画整理(第4号))	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
人事	監査委員等の選任/人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	条例・規則	北九州市議会委員会条例の一部改正/北九州市議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見書	永久劣後ローン融資制度の創設を求める意見書/就労移行支援事業における標準利用期間の更新に係る臨時的な取扱いの延長を求める意見書/新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束に向けたワクチン接種体制等の充実を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		会計年度任用職員制度の改善を求める意見書/新型コロナウイルス感染症により経済的影響を受けた国民や中小企業・団体への追加の経済対策を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	○	○	○	○
		ジェンダー平等社会の実現を目指す計画の具体化を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	×	×	○	×
		総務省、農林水産省をめぐり、接待・利権疑惑の徹底解明を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	×	×	×	×
		ワクチン接種と感染対策を同時に強めることを求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×	×	○	×
	PCR検査等の抜本的強化を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
決議	気候非常事態宣言に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	保健所の増設と機能強化を求める決議	否決	×	×	×	○	×	×	×	○	×	

【各会派の一般的な名称】 自民党：自由民主党 公明党：公明党 ハート：ハートフル北九州 共産党：日本共産党 自民の会：自民の会
維新の会：日本維新の会 変革：変革と成長 井上：井上しんご 村上：村上さとこ 若松：若松を愛する会